大相撲力士4人と交流

福祉施設の利用者や園児ら

大相撲の力士4人がこのほど、社会福祉法人寿宝会が運営する豊川市御津町のグループホーム「輝楽苑」などを訪問し、入所する高齢者と交流を深めた。

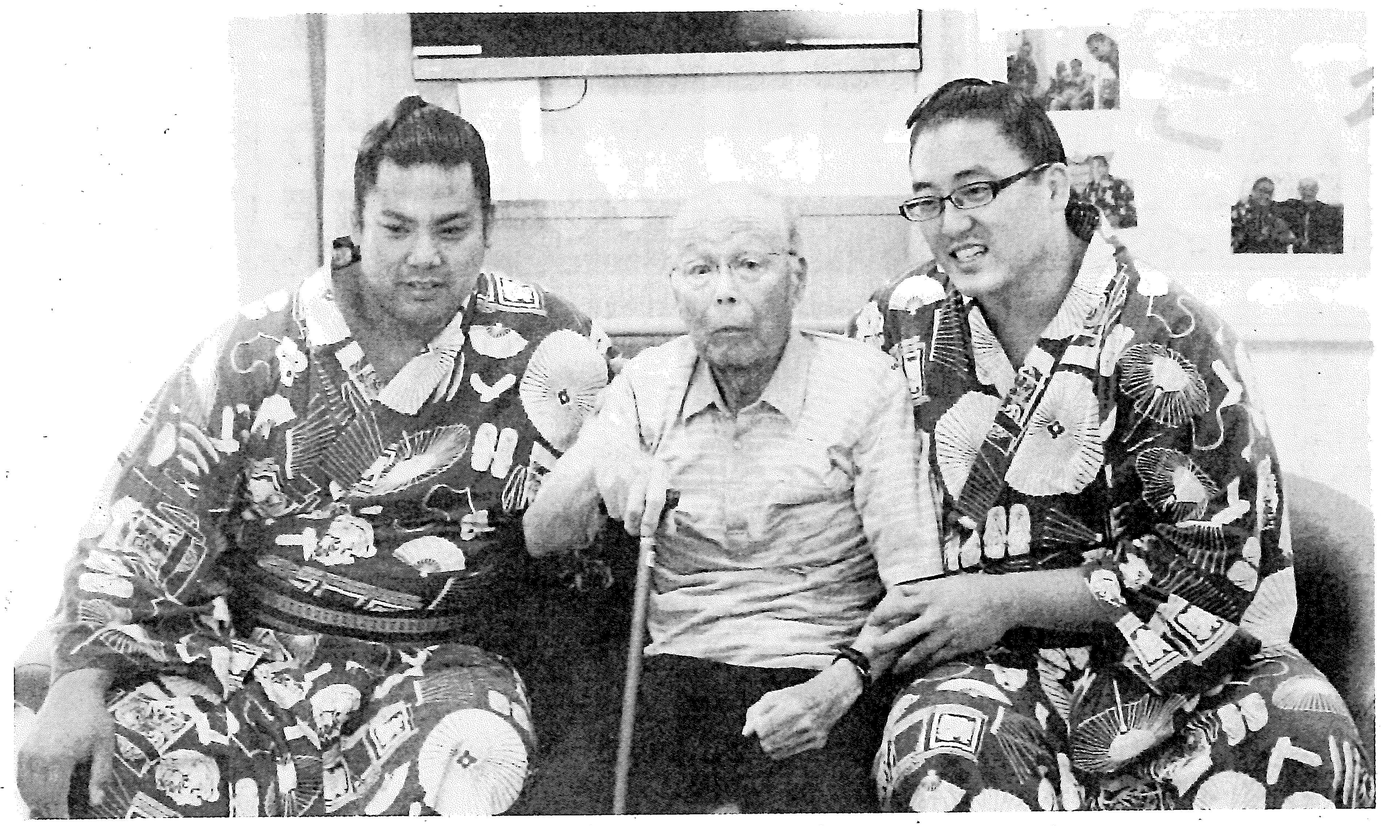
4人は、峰崎部屋の三段目の満津田、若肥前、光源治と序の口の峻峰各力士。高齢者や園児が加わり、写真撮影や「相撲」をとり、握手をして抱き上げてもらったりしていた。

輝楽苑では、70代から102歳まで約30人が入所。力士に「ご飯はどのくらい食べますか」「好きな食べ物は何ですか」などと日常的な生活について質問していた。

力士の姿を見て拝み「応援しているから勝ってね」などと声援を送る高齢者の姿も見られた。

訪問は、高齢者らに喜んでもらい、近隣の園児や地域との交流も図る狙いで、毎年行われており、今年で18回目を迎えた。

（津田満月）



光源治さん㊨、満津田さん㊧と写真を撮る高齢者（輝楽苑で）

出典　東日新聞

2018年7月27日付　朝刊